１月　園だより

あけましておめでとうございます。今年は穏やかで日中は暖かなお正月となりました。昨年末は園庭に積もった雪で雪遊びを楽しめましたが、今年はどうでしょうか。

お正月の遊びにはこま回しや凧揚げがありますが由来としては、こまはまっすぐに芯が通っていると回り続けることから、「お金が回る」「物事が円滑に回る」など縁起がよい意味があると考えられ、お正月遊びとして親しまれるようになったようです。また、こまは一人で立って回ることから、「子どもが早く立派に独り立ちしますように」という願いが込められているとも言われています。

凧揚げは、かつて中国で戦の道具に使われていたものが日本に伝わり、貴族の間で遊びとして親しまれるようになったと伝えられています。江戸時代には、男の子が生まれたお祝いとして、凧揚げをすることもあったようです。お正月の凧揚げは、「立春の季に空に向くは養生のひとつ」という言葉に由来すると言われています。この言葉には、「暦上で春が始まる『立春』（2月4日頃）の季節に空を見上げるのは健康にいい」という意味があります。新年の時期の健康を祈る遊びとして親しまれ、お正月遊びとして定着したようです。

お正月ならではの遊びを園でも取り入れながら、新年を祝う遊びの意味に触れ、子どもたちの今後の健康と成長を願いたいと思います。